令和８年度（2026年度）

北海道公立学校教員採用候補者選考検査秋選考

実 技 検 査 の 進 め 方

北 海 道 教 育 委 員 会

音　楽　実　技　検　査

検査の実施方法

音楽（特別支援学校（中・高等部））

１　検査方法

(1) ピアノ演奏

中学校歌唱共通教材のうち、指定された１曲を、簡単な伴奏を付けて、原調で演奏するとともに、検査時に示された調に移調して演奏する。

(2) 歌唱

コールユーブンゲン（第１巻）№.１～№.41（原書番号）のうち、指定された１曲を歌う。

２　検査の進め方

検査は、次の二通りの方法により実施することとし、演奏途中でつまずきがあった場合は、その箇所から引き続き演奏させ、最初からのやり直しは認めない旨受検者に告げてから実施する。

受検者が持参した楽譜（伴奏のついた楽譜も可）を使用して演奏及び歌唱できることを告げ、持参した楽譜が「コピーしたもので、著作権を侵害するもの」ではないことを確認する。

(1) ピアノ演奏

① 検査員は受検者に対して課題曲（１曲）を示し、主旋律の楽譜を見ながら伴奏を付けて演奏すること、さらに、その演奏後には移調して演奏することも告げる。
　ただし、この時点では移調先は示さないこと。

② 準備時間を与える（３分程度）。
　ピアノを使って和音、伴奏等の練習をしてもよいことを受検者に告げる。

③ 原調のまま、伴奏を付けて演奏させる。

④ 検査員は受検者に対して移調先を示し、先に演奏した曲に伴奏を付けて演奏するよう告げる。

⑤ 移調し、伴奏を付けて演奏させる。

⇒ 判　定

(2) 歌唱

① 検査員が受検者に楽譜を示し、目を通させる（１分程度）。

② 階名唱で歌うことを告げる。

③ 階名唱をさせる。

⇒ 判　定

英　語　実　技　検　査

検査の実施方法

英語（中学校、高等学校、特別支援学校（中・高等部））（ＡＬＴ特別選考以外）

１　検査方法

日常的なことの自由会話と英文を読んで内容について答える。

２　検査の進め方

検査は検査室への入室時から英語で進める。

(1)　自由会話

日常的なことについて自由に会話をする。

(2)　英問英答

① 検査員が受検者に英文課題１つを示し、黙読させる（２分間）。

② 黙読させた後英文を音読させ、検査員は英文の内容に関する質問をし、受検者に答えさせる。

⇒ 判　定

英語（中学校、高等学校）（ＡＬＴ特別選考）

１　検査方法

日常的なことの英語による自由会話と実際の教室における授業を想定した場面指導を行う。

２　検査の進め方

(1)　自由会話

日常的なことについて英語で自由に会話をする。

(2)　場面指導

① 検査員が受検者に課題（日本語）を１つ示し、授業内容の一部を構想させる（５分間）。

② 英語で場面指導を行わせる（10分以内）。

・希望により、黒板（ホワイトボード）を使用させる。

・検査員は生徒役となり、途中、検査員から日本語で質問や発言をすることができる。

・受検者から検査員（生徒役）への問いかけには答えず、生徒からの答えや反応を想像して、進めさせる。

③ 場面指導後、検査員は場面指導に関する質問をし、受検者に日本語で答えさせる。

⇒ 判　定